

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8330
担当部課名	企画部	情報システム	課	統計 室
事務事業名	神奈川県年齢別人口統計調査			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

神奈川県統計調査条例
------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

県費補助事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
年間の年齢別異動人口を把握し、1月1日現在の年齢別人口を算出、県に報告する。 集計結果は、各施策の資料や市民等への統計資料として情報提供を行っている。	対象数
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1月1日現在年齢別人口統計調査	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	評価指標を定めるのは困難である。							
活動指標	評価指標を定めるのは困難である。							

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	8	3	3	23	23
人員・時間数	11.5時間	11.5時間	11.5時間	11.5時間	11.5時間
人件費	48	48	48	48	48
その他経費	0	0	0	0	0
合計	56	51	51	71	71
特定財源	8	3	3	23	23
対象数					
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	年間の年齢別異動人口を把握し、1月1日現在の年齢別人口を算出、県に報告するという目的は、十分に達成されている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 年齢別異動人口の把握によって算出された年齢各歳別の人口は、行政施策の立案や学術研究等様々な分野で活用されている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		年齢別の人口統計を県へ報告することは、市の年齢別異動人口を把握し、算出するため、結果的に本市のデータとして活用でき、市としては有効である。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	年齢別異動人口は、確立された電算システムで効率よく集計されている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	刊行物の発行だけでなく、ホームページにその内容を掲載することで、より多くの市民や事業者を利用の機会を広げている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 調査結果の公開をより使いやすく、より分かりやすく行うことで効果があがる。	手段	年齢別異動人口の把握については、システムが確立されており、改善の余地はないと思われる。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県内各市とも同様の事業を行い、調査結果を冊子やインターネットで公開している。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	年齢別人口統計は、行政施策や民間企業等、各分野で幅広く活用されている。事業費については、集計のためのシステムが確立されており一定である。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--